

# Public Voices 声のらん

皆さんの「声」にお答えします。

《声のらん》では、「市長への手紙・ポスト」などに寄せられた声とその答えの中から、市民の皆さんの参考になる問答をご紹介します。(内容確認のため、連絡先と名前をご記入ください。)  
【〒066-8686 / 東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課宛】



《学習チャレンジ塾》って、どんな塾ですか？ ボランティア活動？  
〔50歳代／女性〕

**声** 《学習チャレンジ塾》の内容や参加状況を教えてください。ボランティアとして、誰でも参加できるのでしょうか。

**答** 《生活困窮者自立支援制度》にもとづき、市が平成27年8月からスタートした事業で、中学生・高校生を対象に、月曜・水曜の週2回、17時30分から約2時間、総合福祉センターで行っている学習支援事業です。

お答えします  
福祉課 生活支援係  
☎(24)0894  
FAX(27)3743

この事業は、生活上の問題で一般的な塾に通うことができない子どもに、「自主的に学べる場」を提供し、高校進学や卒業に向けた継続的な学習支援を通じて、将来に希望を持って就学・就労できるようにすることを目的としています。毎年約40人の子どもたちが利用しています。

《学習チャレンジ塾》で行う「学習支援」は、生活支援員(学習支援担当)1人とボランティアの皆さんの協力を得て、学年別や、学習習熟度に応じて、個別に行っています。さらに、学習だけではなく、ボランティアとの交流を通じた「居場所づくり」や、自己肯定感を育むよう、福祉の面からも支援しています。

ボランティアとして参加できる方は、教員経験がある方や学生(大学生・短大生・専門学校生など)を対象としています。

希望者には、「ちとせ学習チャレンジ塾人材バンク」への登録をお願いしています。現在、教員経験者などの《スタディアドバイザー》に13人、《学生ボランティア》に15人の方が登録しており、参加が可能な範囲でご協力をいただいています。

市は、より多くの方の参加を求めています。詳細について、市のホームページをご覧ください。ただか、福祉課生活支援係までお問い合わせください。

市民と大学で創る  
豊かな自然環境と人の顔が見える街を生かした  
Smart Nature City ちとせ

**地域連携センター** ☎(27)6192  
※センターに関するお問い合わせはこちら。  
renkei@photon.chitose.ac.jp

- 1 【SNCCのブランド化】：特設サイトやポスターを作成するとともに、SNCC構想・活動の普及を促進します。
- 2 【オープンサイエンスパーク千歳】の開催：持続可能なまちづくりを考える、市民・行政・産業界との対話の場です。
- 3 【eラーニングの教材開発と実証評価】：義務教育における理数、英語の教材を開発します。
- 4 【小・中高校生向けプログラミング教室の開催】
- 5 【デジタルワークショップ】：まちライブラリー@千歳タウンプラザの手作りガイドマップのデジタル化を進めます。
- 6 【SDGs パッケージング】：持続可能な社会に寄与する包装材に向けたパネル討論会や各種調査活動を支援します。

※SDGs…2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」の頭文字。

## ちとせの地 地域からの世界に 地域連携センターが これからの地域と大学の関わり

今年4月、科技大内に設置した《地域連携センター》は、提唱するこれまでの光科学・システム基盤技術に最先端のICT応用技術を融合させ、地域産業や市民生活の向上をめざす「スマートネイチャーシティちとせ」構想(SNCC構想)の実現を第一の目的としています。また大学の知識と経験を活用して地域の課題を解決するための《技術相談窓口》を設けるとともに、

今まで行ってきた高校との連携や理科実験授業《理科工房》などで地域と大学をつなぎます。現在の活動を紹介します。



地域連携センター長  
やまばやし よしあき  
**山本 由明** 教授  
YAMABAYASHI YOSHIKI

シリーズ全般  
公立大学法人  
公立千歳科学技術大学  
☎(27)6001  
☎(27)6007